

【サイバーセキュリティ事業継続計画(Cyber BCP)概要】

西部調剤薬局

第2版: 令和7年6月1日

1. 目的

電子薬歴・レセコンなどのシステム障害や不正アクセス発生時に、医療情報を保護しつつ薬局サービスを継続することを目的としています。

2. 想定リスク

- ランサムウェア感染
- 不正アクセスによる情報漏えい
- 機器故障や通信障害

3. 基本方針

- 検知 → 隔離 → 保全 → 報告 → 復旧 の5段階対応を徹底
- 初動10分以内報告、60分以内の縮退判断(Severity基準S1)
- 定期的なセキュリティ訓練を実施

4. 主な対策

- クラウド／オフラインの二重バックアップ体制
- 電子薬歴RTO:4時間以内、レセコンRTO:8時間以内
- 個人情報漏えい時は速やかに関係機関へ報告
- 年1回の訓練・評価・代表取締役による承認

5. 体制

- 医療情報システム最高責任者: 管理薬剤師 久保悦子
- 医療情報システム安全管理責任者: 薬剤師 畑木智裕